

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第4623480号
(P4623480)

(45) 発行日 平成23年2月2日(2011.2.2)

(24) 登録日 平成22年11月12日(2010.11.12)

(51) Int.Cl.

B60N 2/30 (2006.01)

F 1

B60N 2/30

請求項の数 3 (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2000-363294 (P2000-363294)
 (22) 出願日 平成12年11月29日 (2000.11.29)
 (65) 公開番号 特開2002-166762 (P2002-166762A)
 (43) 公開日 平成14年6月11日 (2002.6.11)
 審査請求日 平成19年10月5日 (2007.10.5)

(73) 特許権者 000220066
 テイ・エス テック株式会社
 埼玉県朝霞市栄町3丁目7番27号
 (74) 代理人 100089934
 弁理士 新関 淳一郎
 (72) 発明者 吉田 正美
 栃木県塙谷郡高根沢町大字太田字治部沢1
 18の1 テイ・エス テック株式会社
 技術センター内

審査官 平瀬 知明

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】跳ね上げ車両用シートの固定装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

横方向の着座可能状態の座席シート2と該座席シート2に対して起立した背凭シート3からなり、前記座席シート2と背凭シート3を平らにしたまま横軸回動させて床面5に対して縦置きとなる跳ね上げ可能な車両用シート1において、車体側に固定のストライカ11と、シート側に設けた前記ストライカ11と係合するラッチを有するラッチ機構とを、夫々前後に2個配置し、2個の前後側ラッチ機構12、13は一つの操作レバー17により操作可能に構成すると共に、前記2個の前側ラッチ機構12と後側ラッチ機構13のラッチを開放する前側オープンレバー15と後側オープンレバー16は、2個の前後側ラッチ機構12、13のうち、何れか一方の固定状態を解除した後に他方の固定状態を解除するようにした操作伝達機構18を介して操作レバー17に連結し、前記操作伝達機構18は、中間伝達部材21の中間部を中間伝達部材取付軸22により回動自在に取付け、前記中間伝達部材21の端部に前記操作レバー17を取り付け、前記後側オープンレバー16と前側オープンレバー15を、何れか一方は何れか他方に比し中間伝達部材21の回動中心に近い部分であって、かつ、前記操作レバー17の取付部分よりも回動中心に近い部分の中間伝達部材21に、軸により夫々取付けた跳ね上げ車両用シートの固定装置。

【請求項 2】

請求項1において、前記後側オープンレバー16と前側オープンレバー15の何れか一方は中間伝達部材21に軸により取付け、何れか他方はロッド24を介して中間伝達部材21に取付けた跳ね上げ車両用シートの固定装置。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 において、前記 2 個の前側ラッチ機構 1 2 と後側ラッチ機構 1 3 のラッチを開放する前側オープンレバー 1 5 と後側オープンレバー 1 6 は、何れか一方の固定状態を解除した後に他方の固定状態を解除するようにした操作伝達機構 1 8 を介して操作レバー 1 7 に連結し、前記操作伝達機構 1 8 はシート側に設けた操作レバー 1 7 により回動する中間伝達部材 2 1 に後側オープンレバー 1 6 と前側オープンレバー 1 5 を軸により夫々取付け、前記中間伝達部材 2 1 は下側アーム部 3 4 と上側アーム部 3 5 とに分割形成し、下側アーム部 3 4 と上側アーム部 3 5 の間に両者を一体回動させるように付勢する一体回動用バネ 3 6 を設けた跳ね上げ車両用シートの固定装置。

【発明の詳細な説明】

10

【0 0 0 1】**【産業上の利用分野】**

本発明は、跳ね上げシートと呼ばれる車両用シートを着座使用状態に保持固定する固定装置に関するものである。

【0 0 0 2】**【従来技術】**

従来、横方向の着座可能状態の座席シートと該座席シートに対して起立した背凭シートからなり、前記座席シートと背凭シートを一枚板状に平らにして横軸回動させて床面に対して縦置きとする車両用シートにおいて、車体側に固定のストライカと、該ストライカと係合するラッチを有しシート側に設けたラッチ機構を設けた構成は、公知である。

20

【0 0 0 3】**【発明が解決しようとする課題】**

前記公知例は、単に一つのラッチ機構を設けたものであるから、荷重や衝撃に対して課題がある。

しかし、工夫すると、固定を確実にし、また、操作性を向上させる。

【0 0 0 4】**【発明の目的】**

車両用シートの着座状態における固定保持の確実化、構成の簡素化、操作性の向上。

【0 0 0 5】**【課題を解決するための手段】**

30

本発明は、横方向の着座可能状態の座席シート 2 と該座席シート 2 に対して起立した背凭シート 3 からなり、前記座席シート 2 と背凭シート 3 を平らにしたまま横軸回動させて床面 5 に対して縦置きとなる跳ね上げ可能な車両用シート 1 において、車体側に固定のストライカ 1 1 と、シート側に設けた前記ストライカ 1 1 と係合するラッチを有するラッチ機構とを、夫々前後に 2 個配置し、2 個の前後側ラッチ機構 1 2 、1 3 は一つの操作レバー 1 7 により操作可能に構成すると共に、前記 2 個の前側ラッチ機構 1 2 と後側ラッチ機構 1 3 のラッチを開放する前側オープンレバー 1 5 と後側オープンレバー 1 6 は、2 個の前後側ラッチ機構 1 2 、1 3 のうち、何れか一方の固定状態を解除した後に他方の固定状態を解除するようにした操作伝達機構 1 8 を介して操作レバー 1 7 に連結し、前記操作伝達機構 1 8 は、中間伝達部材 2 1 の中間部を中間伝達部材取付軸 2 2 により回動自在に取付け、前記中間伝達部材 2 1 の端部に前記操作レバー 1 7 を取付け、前記後側オープンレバー 1 6 と前側オープンレバー 1 5 を、何れか一方は何れか他方に比し中間伝達部材 2 1 の回動中心に近い部分であって、かつ、前記操作レバー 1 7 の取付部分よりも回動中心に近い部分の中間伝達部材 2 1 に、軸により夫々取付けた跳ね上げ車両用シートの固定装置としたものである。

40

本発明は、前記後側オープンレバー 1 6 と前側オープンレバー 1 5 の何れか一方は中間伝達部材 2 1 に軸により取付け、何れか他方はロッド 2 4 を介して中間伝達部材 2 1 に取付けた跳ね上げ車両用シートの固定装置としたものである。

本発明は、前記 2 個の前側ラッチ機構 1 2 と後側ラッチ機構 1 3 のラッチを開放する前側オープンレバー 1 5 と後側オープンレバー 1 6 は、何れか一方の固定状態を解除した後

50

に他方の固定状態を解除するようにした操作伝達機構 18 を介して操作レバー 17 に連結し、前記操作伝達機構 18 はシート側に設けた操作レバー 17 により回動する中間伝達部材 21 に後側オープンレバー 16 と前側オープンレバー 15 を軸により夫々取付け、前記中間伝達部材 21 は下側アーム部 34 と上側アーム部 35 とに分割形成し、下側アーム部 34 と上側アーム部 35 の間に両者を一体回動させるように付勢する一体回動用バネ 36 を設けた跳ね上げ車両用シートの固定装置としたものである。

【0006】

【実施例】

本発明の一実施例を図面により説明すると、1 は車両用シートであり、座席シート 2 および背凭シート 3 を有し、背凭シート 3 は座席シート 2 に対して水平状態を含む傾斜角度調節自在にリクライニング装置 4 を介して取付ける。10

しかし、前記車両用シート 1 は、着座可能状態から座席シート 2 および背凭シート 3 が車体の床面 5 に対して縦方向（走行方に並行）となるように前後方向の横軸 6 中心に回動自在に構成し、所謂跳ね上げシート（跳ね上げ状態）と呼ばれる形態変化可能に構成し、前記座席シート 2 の反横軸 6 側には該座席シート 2 を支持する脚部 8 を設け、該脚部 8 と前記床面 5との間には車両用シート 1 を着座状態に固定する固定装置 10 を設ける。

【0007】

固定装置 10 は、車体側である床面 5 に設けたストライカ 11 と、該ストライカ 11 に係合固定するラッチ（図示省略）とからなるラッチ機構を、前後に 2 個配置して構成する。なお、前後側ラッチ機構 12、13 は前記ラッチとストライカ 11 との固定状態を保持するラチエット等を有する任意の構成のものでよい。20

しかし、前記前側ラッチ機構 12 および後側ラッチ機構 13 には、ラッチとストライカ 11 との固定状態を解除する前後側オープンレバー 15、16 を夫々設け、前側オープンレバー 15 と後側オープンレバー 16 は一つの操作レバー 17 により操作可能に構成し、操作レバー 17 と前側オープンレバー 15 および後側オープンレバー 16 との間には操作伝達機構 18 を設け、操作伝達機構 18 は前側ラッチ機構 12 および後側ラッチ機構 13 の何れか一方の固定状態を解除した後に他方の固定状態を解除するように構成する。

【0008】

20 は前側ラッチ機構 12 の前側カバープレートであり、前側カバープレート 20 より前記前側オープンレバー 15 を後方に突出させ、前側オープンレバー 15 は前後方向に移動自在に設けている。30

前記前側オープンレバー 15 の先端は中間伝達部材 21 の下部に取付ける。中間伝達部材 21 は上下方向のアーム形状に形成し、その上下中間部を中間伝達部材取付軸 22 により脚部 8 の脚部フレーム 23 に回動自在に取付ける。

中間伝達部材 21 の上部には前記操作レバー 17 の基部を取り付け、操作レバー 17 を前方に引くと、中間伝達部材 21 が回転して前側オープンレバー 15 を牽引し、前側ラッチ機構 12 のラッチとストライカ 11 の係合を開放する。

【0009】

前記中間伝達部材 21 には、ロッド 24 の前端を取り付け、ロッド 24 の後端は後側オープンレバー 16 に取付け、後側オープンレバー 16 は軸 25 により後側ラッチ機構 13 の後側カバープレート 26 に回動自在に取付ける。40

この場合、ロッド 24 の前端部は、前側オープンレバー 15 に比し中間伝達部材取付軸 22 に近い部分の中間伝達部材 21 に取付け、中間伝達部材取付軸 22 を中心とする円弧の半径を小にし、前側ラッチ機構 12 と後側ラッチ機構 13 とのラッチの開放時期をずらせており、この構成においても、前側オープンレバー 15 と後側オープンレバー 16 のストロークの設定により、前側ラッチ機構 12 および後側ラッチ機構 13 のどちらを先行させて開放するかは任意に設定可能である。

【0010】

30 は中間伝達部材 21 を反開放方向に付勢するバネ、31 は中間伝達部材 21 に設けた突起のガイド体、32 はガイド溝であり、ガイド体 31 とガイド溝 32 は中間伝達部材 250

1の回動を停止させるストップを兼用する。33は前側カバープレート20および後側カバープレート26に形成したストライカ進入溝である。

【0011】

図4、図5は、第2実施例であり、前記中間伝達部材21を下側アーム部34と、上側アーム部35とに分割形成し、下側アーム部34に前記前側オープンレバー15を、上側アーム部35にロッド24（後側オープンレバー16）を夫々取付け、下側アーム部34と上側アーム部35の間に両者を一体回動させるように付勢する一体回動用バネ36を設け、操作レバー17を前方に引くと、下側アーム部34と上側アーム部35とが一体回動用バネ36により一体回動し、これにより前側オープンレバー15を牽引し、更に操作レバー17を前方に引くと、一体回動用バネ36の弾力に抗して上側アーム部35を回動させてロッド24を牽引して、後側オープンレバー16を回動させる。10

【0012】

【作用】

以上の構成であり、着座可能状態の座席シート2および背凭シート3は、背凭シート3をリクライニング装置4により座席シート2に対して平らに倒し、次ぎに、脚部8に設けた固定装置10の操作レバー17を操作し、ラッチとストライカ11との係合を開放すると、車両用シート1は床面5に対して移動自在となり、縦方向に跳ね上げ、この状態で任意の手段で固定する。

前記の場合、固定装置10は車体側である床面5に設けたストライカ11と、該ストライカ11に係合固定するラッチ（図示省略）とからなるラッチ機構を、前後に2個配置して構成しているから、着座可能状態を強固に保持する。20

【0013】

この2個の前後側ラッチ機構12、13は、ラッチとストライカ11との固定状態を解除する前後側オープンレバー15、16を夫々設けているが、前側オープンレバー15と後側オープンレバー16は一つの操作レバー17により操作可能に構成しているから、操作レバー17は、ワンモーションで2個の前後側ラッチ機構12、13のストライカ11をフリー状態にして、操作性を低下させない。

操作レバー17と、前側オープンレバー15と後側オープンレバー16との夫々間には操作伝達機構18を設け、操作伝達機構18は前側ラッチ機構12および後側ラッチ機構13の何れか一方の固定状態を解除した後に他方の固定状態を解除するように構成しているから、開放操作を確実にする。30

【0014】

前側ラッチ機構12の前側オープンレバー15は、脚部8に中間伝達部材取付軸22により回動自在に設けた中間伝達部材21に取付け、中間伝達部材21に操作レバー17の基部を取付けるとともに、後側オープンレバー16を操作するロッド24と前側オープンレバー15は、何れか一方は何れか他方に比し中間伝達部材21の回動中心（取付軸22）に近い部分に取付け、軸間距離を相違させているから、前側ラッチ機構12と後側ラッチ機構13の夫々のラッチの開放時期を簡単な構成でずらせられる。

【0015】

図4、図5の第2実施例では、中間伝達部材21を下側アーム部34と、上側アーム部35とに分割形成し、下側アーム部34に前側オープンレバー15を、上側アーム部35にロッド24（後側オープンレバー16）を夫々取付け、下側アーム部34と上側アーム部35の間に両者を一体回動させるように付勢する一体回動用バネ36を設けているから、操作レバー17を前方に引くと、下側アーム部34と上側アーム部35とが最初は一体回動用バネ36により一体回動し、これにより前側オープンレバー15を牽引し、更に操作レバー17を前方に引くと、一体回動用バネ36の弾力に抗して上側アーム部35を回動させてロッド24を牽引して、後側オープンレバー16を回動させる。40

なお、本願発明の要件ではないが、座席シート2に対して脚部8を折り畳み自在に構成して、車両用シート1を跳ね上げたとき、脚部8を座席シート2と略並行となるように折り畳む。50

【0016】

しかし、脚部8を座席シート2に対して交差方向に持ち上げ、この状態で、車両用シート1の跳ね上げの固定を解除して、横軸6中心に下方回動させると、固定装置10の前側ラッチ機構12および後側ラッチ機構13の夫々の前側カバープレート20および後側カバープレート26に夫々形成したストライカ進入溝33にストライカ11が進入してラッチが係合し、車両用シート1の座席シート2を通常着座位置に固定し、次ぎに、リクライニング装置4により背凭シート3を起こすと、車両用シート1は通常着座状態となる。

【0017】

【発明の効果】

本発明は、横方向の着座可能状態の座席シート2と該座席シート2に対して起立した背凭シート3からなり、前記座席シート2と背凭シート3を平らにしたまま横軸回動させて床面5に対して縦置きとなる跳ね上げ可能な車両用シート1において、車体側に固定のストライカ11と、シート側に設けた前記ストライカ11と係合するラッチを有するラッチ機構とを、夫々前後に2個配置し、2個の前後側ラッチ機構12、13は一つの操作レバー17により操作可能に構成すると共に、前記2個の前側ラッチ機構12と後側ラッチ機構13のラッチを開放する前側オープンレバー15と後側オープンレバー16は、2個の前後側ラッチ機構12、13のうち、何れか一方の固定状態を解除した後に他方の固定状態を解除するようにした操作伝達機構18を介して操作レバー17に連結し、前記操作伝達機構18は、中間伝達部材21の中間部を中間伝達部材取付軸22により回動自在に取付け、前記中間伝達部材21の端部に前記操作レバー17を取り付け、前記後側オープンレバー16と前側オープンレバー15を、何れか一方は何れか他方に比し中間伝達部材21の回動中心に近い部分であって、かつ、前記操作レバー17の取付部分よりも回動中心に近い部分の中間伝達部材21に、軸により夫々取付けた跳ね上げ車両用シートの固定装置としたものであるから、確実に固定状態を解除して、操作性を向上させる。

本発明は、前記後側オープンレバー16と前側オープンレバー15の何れか一方は中間伝達部材21に軸により取付け、何れか他方はロッド24を介して中間伝達部材21に取付けた跳ね上げ車両用シートの固定装置としたものであるから、前側ラッチ機構12と後側ラッチ機構13の夫々のラッチの開放時期を簡単な構成でずらせられる。

本発明は、前記2個の前側ラッチ機構12と後側ラッチ機構13のラッチを開放する前側オープンレバー15と後側オープンレバー16は、何れか一方の固定状態を解除した後に他方の固定状態を解除するようにした操作伝達機構18を介して操作レバー17に連結し、前記操作伝達機構18はシート側に設けた操作レバー17により回動する中間伝達部材21に後側オープンレバー16と前側オープンレバー15を軸により夫々取付け、前記中間伝達部材21は下側アーム部34と上側アーム部35とに分割形成し、下側アーム部34と上側アーム部35の間に両者を一体回動させるように付勢する一体回動用バネ36を設けた跳ね上げ車両用シートの固定装置としたものであるから、前側ラッチ機構12と後側ラッチ機構13の夫々のラッチの開放時期を簡単な構成でずらせられる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 シートを跳ね上げる状態の説明図。

【図2】 固定装置の側面図。

【図3】 同分解斜視図。

【図4】 第二実施例の固定装置の側面図。

【図5】 同分解斜視図。

【符号の説明】

1 ... 車両用シート、2 ... 座席シート、3 ... 背凭シート、4 ... リクライニング装置、5 ... 床面、6 ... 横軸、8 ... 脚部、10 ... 固定装置、11 ... ストライカ、12 ... 前側ラッチ機構、13 ... 後側ラッチ機構、15 ... 前側オープンレバー、16 ... 後側オープンレバー、17 ... 操作レバー、18 ... 操作伝達機構、20 ... 前側カバープレート、21 ... 中間伝達部材、22 ... 中間伝達部材取付軸、23 ... 脚部フレーム、24 ... ロッド、25 ... 軸、26 ... 後側カバープレート、30 ... バネ、31 ... ガイド体、32 ... ガイド溝、33 ... ストライカ進入溝

10

20

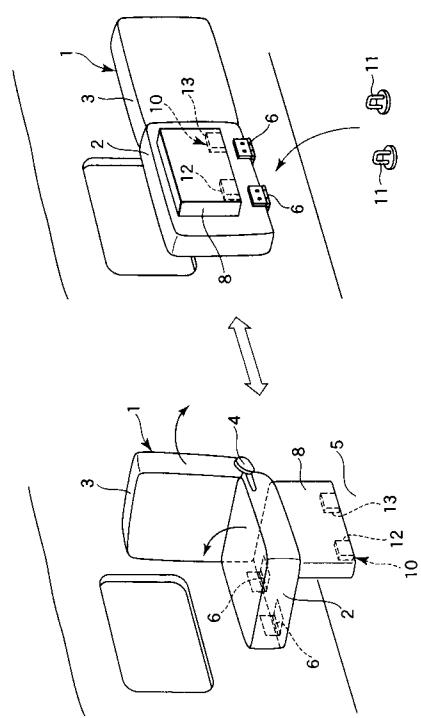
30

40

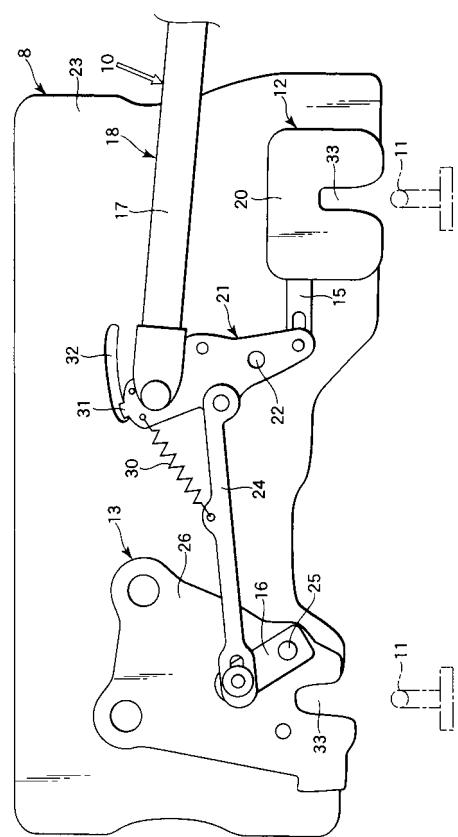
50

、34…下側アーム部、35…上側アーム部、36…一体回動用バネ。

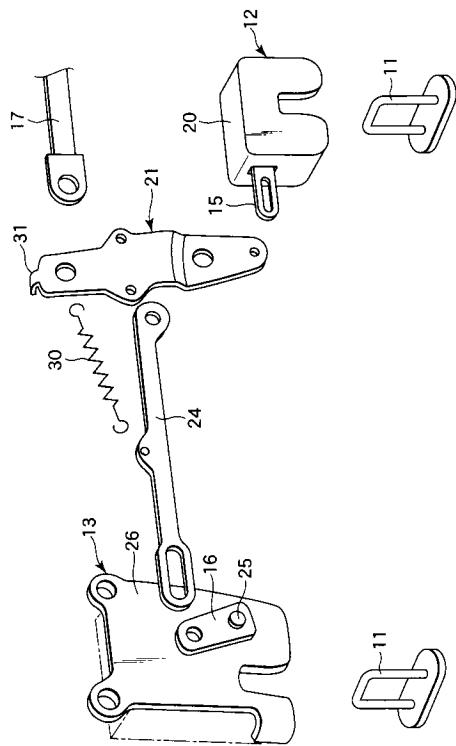
【図1】



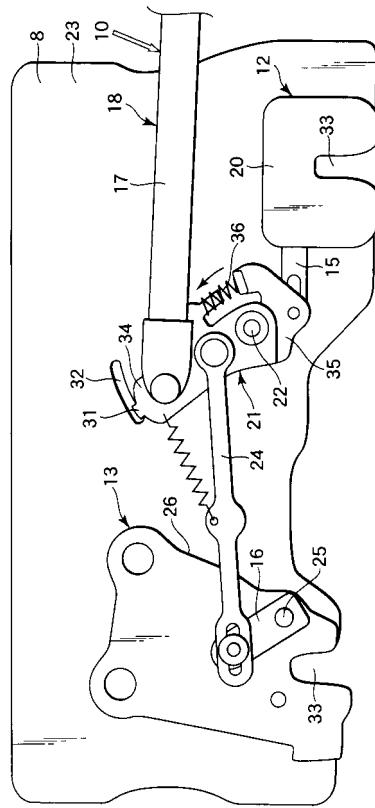
【図2】



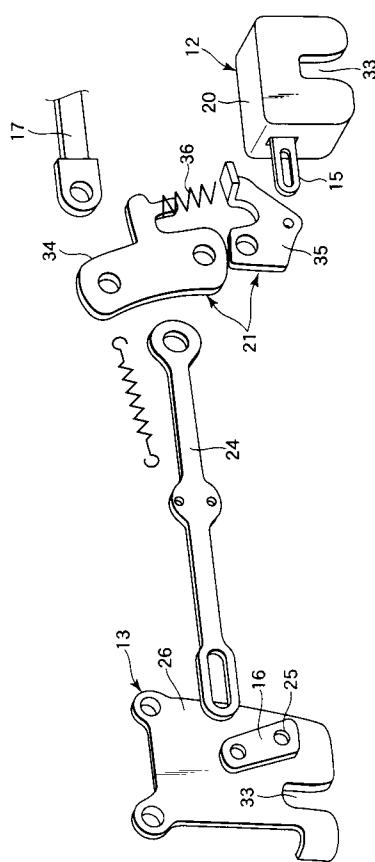
【図3】



【図4】



【図5】



フロントページの続き

(56)参考文献 特開平10-095259(JP,A)
特開2000-108741(JP,A)
特開平10-264692(JP,A)
特開平08-230538(JP,A)
特開昭63-137054(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

B60N 2/30